Creative Enzymes®

ネイティブバチルス属キトサナーゼ

Cat. No. NATE-1746

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	キトサナーゼは、選□されたバチルス属の細菌の株を用いた浸漬発酵によって製造された粉末状のキトサナーゼ製剤です。この酵素は、キチンの部分的または完全に脱アセチル化された誘導体であるキトサンの分解を触媒します（N-アセチルグルコサミンのβ-1,4ホモポリマー）。
用途	キトサナーゼは、キトサン（脱アセチル度：40〜100%）を加水分解するために使用できます。特に、免疫刺激活性、抗腫瘍活性、抗微生物活性など、さまざまな生物活性を持つキトサンオリゴ糖の生産に使用できます。
別名	キトサナーゼ; EC 3.2.1.132; 51570-20-8; キトサン N-アセチルグルコサミノヒドロラーゼ

製品情報

由来	バチルス属
外□	白または淡黄色の冷凍乾燥粉末
***EC*番号**	EC 3.2.1.132
***CAS*登□番号**	51570-20-8
分子量	45,000Da estimated by SDS-PAGE
活性	35,000U/g
***pH*安定性**	pH範□4.5から8.0で安定しています
最適pH	pH範□ 4.5 から 6.0
熱安定性	40°Cで24時間インキュベーション後、90%以上の活性が残ります。
最適温度	60°C
特異性	キトサン基板に□して、40%から100%まで脱アセチル化された高い活性を示します。
単位定義	標準活性は修正されたシャレス法によって決定されます。1単位(U)は、pH 5.0、48°Cでキトサンから1μモルの還元糖（D-グルコサミン相当量として測定）を1分間に放出する酵素の量として定義されます。この方法の詳細な□明はリクエストに□じて提供されます。
備考	ヒ素: 4ppm未□。 重金属: 10ppm未□（Pbとして）。 大腸菌群: グラムあたり30コロニー形成単位（CFU）未□。 サルモネラ: 陰性。

保管・発送情報

保存方法	製品は、4°C以下の温度で涼しく乾燥した環境に保管する必要があります。